

# 地質ニュース

昭和54年5月

第297号

1979

解 説	昭和54年度の地質調査所の研究①	企 画 室	6
	昭和52年度における日本の物理探査活動	小 林 創 市 川 金 徳 小 野 吉 彦	16
海外事情	米国地質調査所ナショナルセンター見聞記①	盛 谷 智 之	22
	中国の銅鉱床 ①	岸 本 文 男	30
	中国地質用語—鉱物名編①—	資 料 室	40
	中近東フィールド・ノート⑤ アラビア盾状地の地史と花こう岩類	高 橋 清	44
	標本館に対する海外からの地質標本②	神 戸 信 和	56
	湯 沢 YUZAWA	大 沢 穰 高 口 健 志 安 泰 助	58
	第19回国際地質学会議の切手	P. Q.	43
口 絵	南極のホットスポット	倉 沢 一	

## 編 集 地 質 調 査 所

### 表紙の写真

発行 株式会社 実業公報社

### スペインでの地下水揚水試験

スペインのマドリッドと地中海沿岸部のアンダルシア地方の中間地域は広大な荒野となっている。周囲に広く分布している石灰岩と高温乾燥気候のために、地表近くはカリーチと呼ばれる  $\text{CaCO}_3$  と  $\text{MgCO}_3$  からなる固い層で厚く覆われて植生が育たず不毛の荒野となっている。スペイン政府はこの不毛の大荒野の開発計画を樹て、水資源の開発・農地の拡大など大きな成果を挙げている。この荒野の中心地はアルバシーテ市 (Al Bacetete, アラビア語で広野の意味) で、その周辺部は水資源の調査・開発で活況を呈している。調査方法はきわめてオーソドックスで、表層および水理地質図の作製、物理探査、地球化学探査と試験である。とくに試験は大孔径の試験井を基盤の目に500m間隔で掘り、定期的に揚水試験を行っている。この写真は1974年にスペインの地質巡検中に、アルバシーテ市郊外の試験井の揚水試験を見学している。サウジアラビアの応用地質学センターの教授と学生達である。

(写真・文とも 技術部 高橋 清)